

文理科学科通信

京都府立福知山高等学校

第一回研究発表会開催

五月十二日の土曜講座において「みらい学Ⅰ」の第一回研究発表会を開催しました。本校の教員のほか、保護者の方たちも参観されました。

神戸大学農学部の上佐幸雄先生から与えられた農学に関する四つの課題

- ・ 農業問題
- ・ 食料自給問題
- ・ 遺伝子組み換え作物の問題
- ・ 環境ホルモンの問題



から、自分たちで選んだテーマを十一のグループで四週間研究し、その成果をみんなの前で発表しました。どのグループも自分たちが取り組んだ

発表には多くのグループが「パワーポイント」を活用し、会場の保護者の方たちも感心しておられました。

各グループの発表後には他のグループとのディベート(質疑応答)もあり、お互いに研究した内容の理解を深めました。

指導・助言に来ていただいた上佐先生から**「大学院の入学試験や企業では、パワーポイントによるプレゼンテーションができることが必須条件である。」**と教わり、今回の「みらい学Ⅰ」の取り組みの意味も理解し、生徒はみんな達成感を得られたようです。

これから自分たちで発表した内容をまとめ直して、**九月二十九日(土)**の福知山高校の**「文理科学科説明会」**で再度発表します。ぜひ見に来てください。

生徒の声

無農薬野菜はとりあえず安全できれいなものと思っていました。でも上佐先生の講演を聞いて決してそれだけのものではないことが分かりました。

また、自分たちでの研究発表はすごく力になったと感じています。普段の学習では決して得ることのできない知識や体験ができて良かったです。

南陵中学校出身)

スーパーや食卓に並ぶ食べ物を改めて違う見方で見るようになると思います。また、食料問題はエネルギー問題や農薬問題に関係する奥の深い問題だと実感しました。

日新中学校出身)

研究発表をして大変だったけれど、得られたこともたくさんありました。

上佐先生の講演で農学について少し分かり、自分たちで研究することによりさらにいろいろなことが発見できました。また、他の班の発表も班ごとに違った発表で勉強になりました。

川口中学校出身)

自分たちで発表をして、上佐先生には補足をしてもらい農薬について詳しく知ることができました。四月の講演の時と研究をしたあとの今とでは、農薬に対する見方も変わりました。

また、プレゼンテーションの必要性や今後の学習の仕方も教えてもらい、とても勉強になりました。実際にプレゼンテーションをしてみてもう楽しくなりました。

綾部中学校出身)

保護者の声

どの班も研究・プレゼンの工夫がよくできていて、すばらしいと思いました。今後を楽しみにしています。

